

全国の地域ポータル(玄関)サイト運営団体やサイト参加企業などが一堂に会した「地域ポータルサイトサミット in やまなし」が八日、山梨県韭崎市内のホテルで開かれた。各地での成功事例を検証したうえで、インターネットの有効活用による中小企業の取引拡大やサイト参加企業の増加を目指す「サミット共同宣言」を採択した。

同サミットは四回目で、山梨県での開催は初めて。主催は、韭崎商工会や甲府商工会議所、山

地域ポータルサイト サミット

山梨で初開催 成功事例検証

梨中央銀行などが管理する「風林火山ビジネスネット」運営委員会。サミットには同ビジネスネットのほか、「eこつて柏崎」「埼玉仮想工業団地」など全国九つのポータルサイト運営団体や、群馬、大阪、宮崎などの商工会、各ポータルサイトへの参加企業の関係者など、約百六十人が出席した。

ネット取引コンサルタントの加藤忠宏氏による講演の後、ポータルサイト運営団体の担当者やサイト参加企業経営者らが

ネット取引拡大などで共同宣言

ネット取引による受注拡大などの成功事例を発表。ポータルサイト加入による自社ホームページの閲覧増加や、営業実績の向上につながるサイトの仕組み、検索エンジンの上位に位置するための対策などを話し合った。

その結果、ネットの有効活用は中小企業の売上高向上や新規取引拡大、経営革新につながるなどの認識で一致。ネットの活用促進やサイト運営団体や参加企業の連携の推進など四項目を盛り込んだ共同宣言をまとめた。